

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	各個人の希望や楽しみの時間、生活の中の関わりについて、現状は生活史を活用できていなかったり、また新型コロナの影響で行事などの喜んでもらえる催しなどができていない。	生活史についての情報を今後より収集し、関わりの中で生かしていく。また限られた環境の中であるが、事業所内での行事を行なっていく。(感染予防に十分配慮する)	生活史シートの記入と情報の再収集。関わりの中で生活歴とリンクした対応の実施。施設内で実施できる季節感のある行事の企画と実施。	6ヶ月
2	49	コロナ禍により近隣を含めて外出の機会が激減。その為気分転換や季節を感じてもらえる機会が減ってしまった。	落ち着いている時期には感染対策を十分に行いながら、近隣への散歩など短時間でも実施していく。	散歩時にはマスクの着用と手洗い、うがいの徹底。また事業所の出入りの際には消毒も実施。人の少ない時に散歩に出掛け、外部の人と接触しないようにする。	6ヶ月
3	11	現状、事業所内、各フロア内における職員の思いや意見が事業所運営に反映されているとまでは言えず、フロア職員のやりがいという点からも、意見の生かされた職場づくりが必要。	事業所内でのスムーズな情報共有。意見交換により、その事が生かされた事業所運営。	フロア職員・フロアリーダー・ケアマネ・看護師管理者間の情報共有と意見交換、スムーズなコミュニケーションを図る。定期的な事業所内での正職員、ケアマネ会議や看護師会議の開催。	6ヶ月
4	13	新入職員や経験の浅い職員に対しての指導について、技術面や知識面も含めて、まだ不足していると感じる部分があった。	新人職員や経験の浅い職員に分かりやすく、スムーズに仕事ができるような指導を行う。また少しずつステップアップできるようにしていく。	各フロア職員の指導方法がそれぞれ同じように行えるように、業務表や入居者の一覧表の作成や見直しを行う。指導する相手の職員の立場に立って、考えた指導を行うように意識を持つ	6ヶ月
5	31	事業所内の看護師、往診医の訪問看護師、特養からの訪問看護師と様々な看護師及び医療面の連携がある為、情報の共有がより一層必要になると思われる。	看護師間及びグループホーム各フロア内の介護職、ケアマネ間での情報共有をスムーズに行い、医療面、介護面でも入居者の安心、安楽な対応につなげる。	看護師間及びグループホーム各フロア内の介護職、ケアマネ間での情報共有を密に行い、報告・連絡・相談を徹底していく。口頭及び申し送りノート、日誌での情報共有を継続する。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。